

アメダス（地域気象観測システム）の気象計更新について

気象庁では、気温や降水量等の観測を全国の気象台や地域気象観測所等で実施し、観測データを提供しています。

また、令和 3 年 3 月から集中豪雨の予測能力の向上に必要な水蒸気監視能力を強化するため、全国のアメダスの気象計の更新を順次行い、地域気象観測所においても相対湿度の観測を開始しています。

この度、下記の観測所のアメダスの気象計を更新したことをお知らせします。

なお、今回の更新をもって茨城県内のアメダスの気象計の更新は終了となります。

記

1 観測所名及び更新年月日

- | | |
|---------------|-----------------|
| ・ 常陸大宮地域気象観測所 | 令和 7 年 12 月 3 日 |
| ・ 土浦地域気象観測所 | 令和 7 年 12 月 4 日 |

2 今までのアメダスの気象計からの主な変更点
別紙のとおり

3 観測値について

気象庁のホームページから各観測所の観測データをご覧ください。

https://www.jma.go.jp/bosai/amedas/#area_type=offices&area_code=080000&elems=5361c

別紙

【アメダスの新しい気象計】

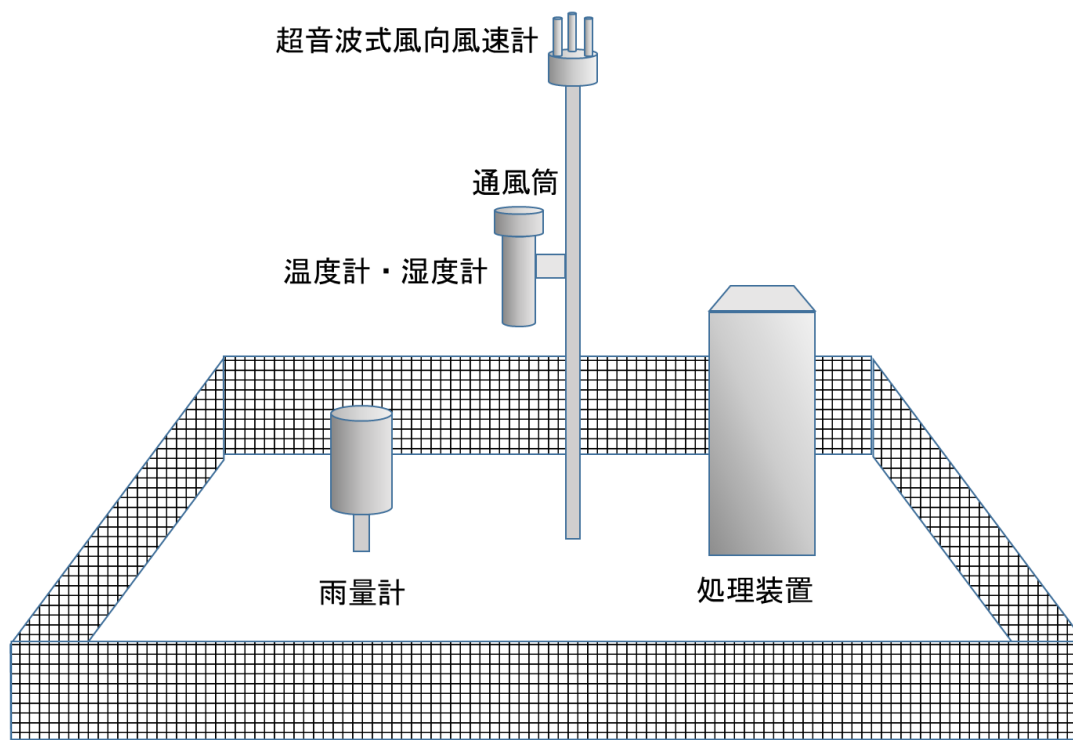
アメダスは、降水量、風向・風速、気温、相対湿度などの観測を自動的に行います。

（気象計に含まれる主な機器）

- ・気温を観測する温度計と、相対湿度を観測する湿度計（通風筒に收容されます）
- ・風向、風速を観測する風向風速計
- ・降水量を観測する雨量計
- ・観測データを収集し、計算処理する処理装置

（今までのアメダス気象計からの主な変更点）

- ・新たに湿度計を導入します。
- ・風向風速計が風車型風向風速計から超音波式風向風速計に変わります。



※アメダスの日照時間は、令和3年3月2日から、気象衛星観測のデータを用いた「推計気象分布（日照時間）」から得る推計値になっています。